

のぼり広告

● 6月19日市内で初のフリーマーケット開催

家庭内の不用品を持ち寄って販売する「フリーマーケット」が登別消費者協会主催で労働福祉センター駐車場を会場に行われました。市民参加の35店が店開き。新品同様の衣類や台所用品を買い求める市民でにぎわいました。



特集

- ◆ 暴力追放「手づくり祭り」を
- ◆ 市民リポート
友だちいっぱい児童館
市民リポーター 白沢賢一
- ◆ きらり「登別野焼きの会」
津村千鶴子さん

7/1
1994
No.525

みんなの力で 手作り祭りを



市民が一丸となって、市内の祭
から暴力団と関係のある露店を排除
するようになってから、今年で6年
になります。今年も皆さんの力で、
手作り祭りを成功させましょう。

市は、登別暴力団追放運動推進団
体連絡協議会と協力し、市民挙げて
市内から一切の暴力を排除し、平和
で安心して生活ができるよう暴力追
放運動を展開しています。

〈みんなの手で手作りの祭りを〉

市民の皆さんと創意工夫で、安全
で楽しい「祭り」をつくり、祭りを
市民のふれあいの場とすることが大
切です。

市は、今年で6年目を迎える各地
区の手作り祭りやイベントの出店方
法、情報、道路占用許可などに積極
的に協力し、応援いたします。

▽問い合わせ 市民課 (☎) 18
55

※各地区の手作り祭りの詳しい日程、
内容は、町内会にお問い合わせくだ
さい。



第7回 鷲別七夕まつり

7月7日(木)～9日(土)

日本の伝統行事を地元の子供達に楽し
んでもらおうと、鷲別商店街が主催して、今
年で7回目。新和デパート前は「七夕通り」
となり、鷲別、若草両小学校の児童の短冊
が飾り付けられます。

例年2日間の開催でしたが、学校週5日

制により9日土曜日は休みとなるので、今
年は7日から9日まで3日間行います。

▷時間 7日15:00～20:00 8日10:00～
20:00(短冊展の表彰式17:00)
9日10:00～20:00

▷問い合わせ 大信田さん(☎)8052)

'94フラワーパレット

のほりべつ(エスポアルー希望の芽)

7月9日(土)～10日(日)

登別まちづくり促進期成会が平成
2年マリパーク・ニクスのオーブ
ンを祝して「ウェルカムニクス祭」を
開催。翌年から「フラワーパレット
のほりべつ」として、毎年花をテ
マにして開催しています。

JR登別駅前通りとメルヘンスト
リートを会場に、4つのテーマパ

クが積極的に参加します。

今年は、4テーマパークのキャラ
クターが「登別ぐるりんGO」で祭
り会場にやってきます。忍者やパイ
キングがユニークな「劇」を上演し
ます。

▷時間 9日15:00～22:00
10日10:00～16:00

▷問い合わせ 勝岡さん(☎)831005)



第12回 のほりべつ提燈まつり

7月23日(土)～24日(日)

登別の夏到来を告げる市民祭り。
JR幌別駅前広場をメイン会場に出
店が並び、ステージでは若者のパン
ド演奏やショーが繰り広げられます。
夕方からは、名物「鬼おどり」が始
まります。そろいの浴衣や法被を着
て大勢の市民が「地獄ばやし」のり

ズムにのって踊ります。

▷時間 23日14:00～22:00
24日10:00～20:00

▷問い合わせ 登別商工会議所 (☎
854111)

第1回 大自然まつり

7月31日(日)

自然を愛する市民グループが中心となって「鉱山町の豊かな大自然を満喫し、心身ともに元気になろう」をテーマに、鉱山町ログハウス村を会場に今年初めて開催します。

自然探索や溪流ボート下り、釣り大会、おでん、焼き鳥などの出店を予定しています。

▷時間 10:00～15:00

▷問い合わせ 千葉さん (☎88 60)



グリーンピア サマーフェスティバル

8月6日(土)～7日(日)

新興商店街として大きく発展する若草、新生地区の商店街「グリーン・ピア」が、若草中央公園を会場に、地域の子供達に祭りの楽しさを知ってもらおうと開催。金魚すくいやおもちゃの出店が並びステージではカラオケ大会やショーが行われます。

▷時間 6日17:00～21:00

7日15:00～21:00

▷問い合わせ 谷口さん (☎31 96)

第31回 登別地獄まつり

8月26日(金)～28日(日)

湯のまち登別を代表する祭り。昨年節目の30回目を記念して、内容を一新。国内最大級のからくり山車「えんま大王」や地獄大行列、鬼みこし、鬼おどり、花火大会など3日間繰り広げられます。

▷内容・時間 3日間とも(予定)

前触れ百太鼓・19:00～19:20

地獄大行列・19:30～20:20

鬼踊り大群舞・20:30～21:20

花火大会・21:30～21:45

最終日のみ地獄大行列・13:00～13:50

▷問い合わせ 観光協会 (☎34 3 11)



第11回 大地の祭典

9月10日(土)～11日(日)

味覚とスポーツの秋を満喫するイベント。太平洋を一望する大草原「ソージャルグリーン」で牛や羊の炭焼きバーベキューをおなかいっぱい食べてください。11日はクロスカントリーレースも開催します。出場者募集中です。

▷時間 10日11:00～20:00

11日10:00～16:00

▷問い合わせ 登別市農業協同組合 (☎31 51) クロスカントリーレースの申し込みは (☎99 63) 登別青年会議所へ

第17回 登別漁港まつり

9月17日(土)～18日(日)

新鮮な海産物や朝揚げのサケの即売のほか特設ステージでは、カラオケ大会などを行います。潮の香りが漂う登別漁港は、食欲をそそるお店がいっぱい並びます。

▷時間 17日(土)10:00～19:30

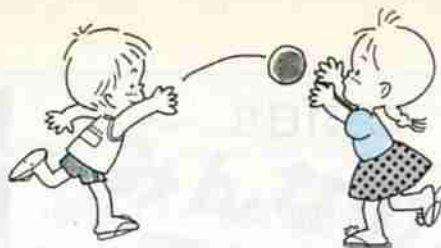
花火大会は18:30～

18日(日)10:00～15:00

▷問い合わせ 登別漁業協同組合 (☎13 21)



児童館



市民リポーター
うす ざわ けん いち
白沢賢一

(登別温泉町・48歳)

「子供の遊び場や校外活動の場」である児童館。

私の住んでいる温泉地区には児童館がないせいか、子供の事に無関心の父親だったからなのか、いずれにせよ、私は児童館のことを全く知りませんでした。

そこで、市内に9か所ある児童館では、どのようなことをしているのかリポートしてみました。

唯一体育館がある 美園児童センター

最初に訪問した美園児童センターは、市内で一番大きな施設でここだけ体育館があり、15種類もの運動用具を備え自由に使用できます。

また、毎週土曜日に体力づくり教室を行っており、学校での体育授業が苦手なお子さんでもここで練習して自信をつけているそうです。



美園児童センターで児童厚生員にお話を聞く白沢リポーター

児童館の利用は登録制

登録制

児童館を利用するときは、施設に住所・氏名などを登録してもらいます。現在、美園児童センターには250名程の登録児童がいて毎日30〜50人の利用があります。ほかの児童館は平均登録児童が100〜140名、一日20〜30名程が利用しているそうです。

児童館では、児童厚生員の資格をもった先生が一人で奮闘しています。が、美園児童センターは施設が広く利用者も多いため、また個別地区の児童館の中心的役割も持っているの3名の先生がいます。

先生に「児童館の良いところは」と伺ってみました。

「学校と違って色々な年代の子供達が一語に遊んでいるので相手を思いやる心、助け合う心が自然と育まれるようです」とのこと。ちよつ予想外(?)な話を聞きうれしくなると同時に先生方の愛情を感じました。

世代間の交流も自然とできる

次は、平成4年4月オープンした若草つどいセンターです。ここは、その名のとおりの市民のつどいの場所ですが、施設内に児童館の機能を持った一室があります。

ス、ースの関係で活動内容は少な

児童館の活動内容

対象児童 幼児(父母同伴)、小・中学生

開館時間 午前9時〜午後5時(日・祝祭日は休館)

活動内容

スポーツ;卓球・ドッチボール・ミニサッカー・ソフトボールなど
 ゲーム;百人一首・オセロ・将棋など
 工 作;きり絵・紙粘土・折り紙・ぬり絵など

このほか、こどもの日パーティ・夏休みミニハイキング・収穫祭や各児童館との交流会もあります。



美園児童センター体育館で元気になわとびをする子供達



登別児童館では、父の日新聞を製作中でした



⑦常盤児童館

常盤町2-34-1 ☎851840



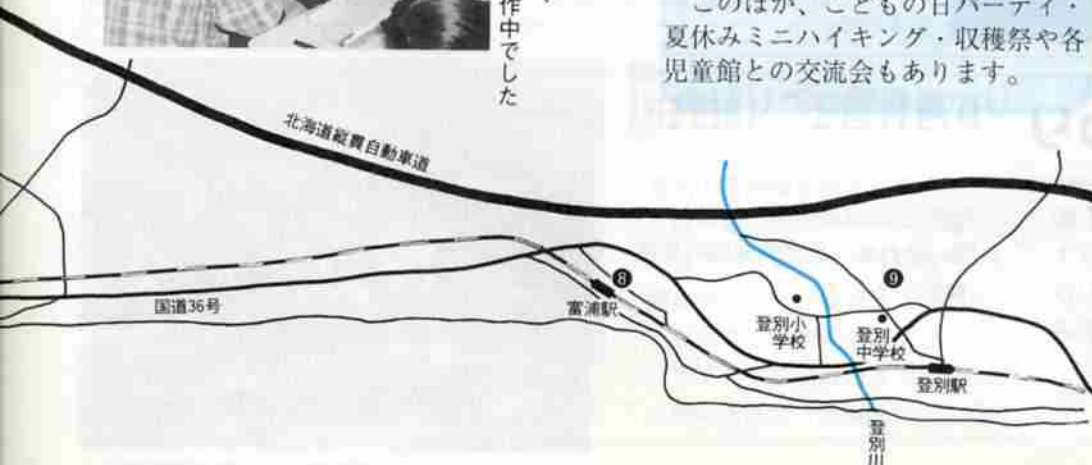
⑧富浦児童館

富浦町1-52-3 ☎831987



⑨登別児童館

登別東町4-19-2 ☎833493



友達いっぱい



①若草つとみセンター

若草町4-21-1 ☎861205



②美園児童センター

美園町5-36-4 ☎864591



③鶯別児童館

鶯別町1-36-3 ☎862766



④富浜児童館

栄町2-18-4 ☎867187

3か所目は常盤児童館。訪れた時間が午後3時を回っていたので、学

学校と家庭との

中間点



▲常盤児童館では百人一首を楽しんでいました

めのようなのですが、広いホールが有りスポーツは存分に楽しめます。お年寄りの憩いの場もあり、児童とのコミュニケーションもとれそうで温かい雰囲気のところでした。

間が午後3時を回っていたので、学

高齡化社会到来と言われている昨今ですが、児童館を利用して子供達の健全、はつらつとした姿は、登別の将来にかすかな希望を見せてくれました。

次代を担う子供達のために

校の集を終えた大勢の子供達が来ており、ホールでは卓球、ドッチボール等に汗を流す子、また隣の部屋では先生が読み手になり百人一首をしていました。私も40年前を思い出して感激。百人一首は幌別地区の児童館で交流試合をしているそうです。他に幌別、富浦、登別と回り元気な子供達を確認。特に登別では間近に迫った父の日のプレゼント(父の日新聞)を製作中の児童に出会い、思わず心の中で「ありがとう嬉しいよ」と言ってしまった。



⑤幌別児童館

幌別町4-10-3 ☎852802



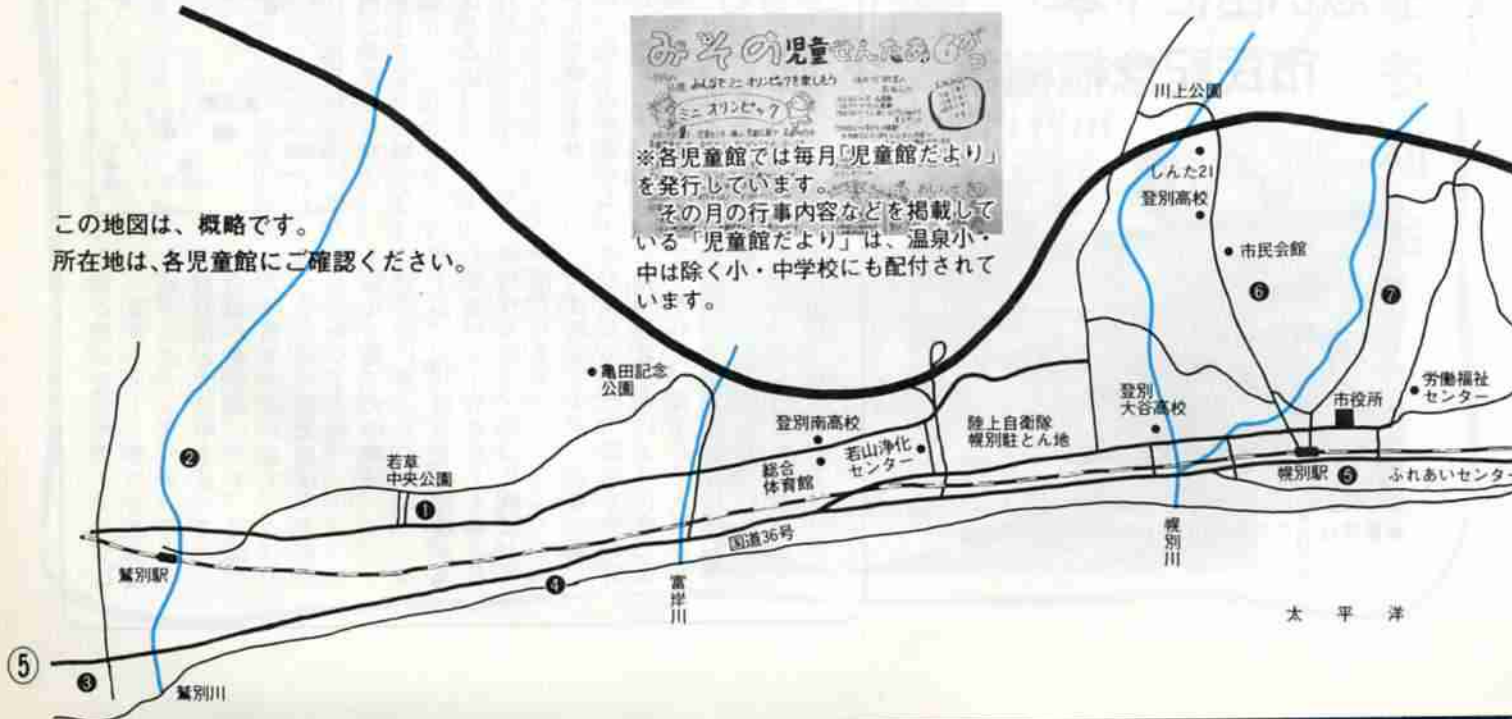
⑥富士児童館

富士町1-1-4 ☎857760



みよりの児童センター
 ※各児童館では毎月「児童館だより」を発行しています。
 その月の行事内容などを掲載している「児童館だより」は、温泉小・中は除く小・中学校にも配付されています。

この地図は、概略です。
 所在地は、各児童館にご確認ください。





▲市清掃工場横(幸町)に完成した「のぼりべつリサイクルハウス」

再利用可能な 不用品を持ち込んでください のぼりべつリサイクルハウス完成

リサイクル品保管庫「のぼりべつリサイクルハウス」が市清掃工場横(幸町)に完成し、7月1日から利用開始です。利用時間は、月曜日から金曜日(祝日を除く)までの午前10時から午後4時まで。利用方法は、自宅や事業所で不用となった再利用可能な家具や机などを持ち込んでいただき、一度集まりましたら公開します。引き取りは無料で希望者多数の場合は、抽選します。公開の日時は広報紙でお知らせします。

市は、保管庫の完成で家庭や事務所などで不用となったものが見直され、リサイクル意識がさらに高まるものと期待しています。問い合わせは、環境衛生課(☎2958)へ。

私が見た登別

交通の便が良い
ですね



みやぎ せつこ さん
(登別東町・32歳)



—いつ登別市にきましたか
平成元年9月です。結婚のために来ました。

—それまではどこに
山形県大江町です。そこで生まれ育ちました。

—大江町はどんな町ですか
山に囲まれ、最上川が流れる人口1万人ほどの町です。山の斜面では、洋梨、サクランボ、ブドウ、桃、リンゴなど、柑橘類以外のほとんどの果物を作っています。一時は、NHKドラマ「おしん」の古里で有名でした。

—来る前の登別市のイメージは「温泉」と、テレビで北海道を見て「広くて雪の多い所」。

—登別市と大江町を比べて
交通の便が良いです。実家へは3時間半で帰れます。一日中遊べる公園や観光施設などがたくさんありますね。

—住んで見ての印象は
気候的に過ごしやすいところですね。大江町は夏は湿度が高く気温が30〜32度以上もある日が続く。冬は札幌ほど雪が積もります。

—大江町ですが、若者の働く場が少ないのか、職場を他の町に持つ若者が多いように感じます。それと、町を歩く人の姿が少ないのは(う)若者に限らず、町の中に人がたくさんいると何らかの活動が生まれ、町の活気も出るのではないのでしょうか。

昨年春と秋の2回行っている市民記念植樹祭。今年も6月19日川上公園で16組約50名が参加して行われました。

それぞれの思いを込めて植えたのは、エゾヤマザクラ、ヤエザクラ、プラタナスの3種類。家族連れや夫婦が、結婚記念、子供や孫の誕生記念などに、記念写真を取ったりビデオカメラを回しながら丁寧にスコップで土をかけました。

結婚、2人の男の子の誕生と3回連続植樹している男性は「大きくなったら桜を見て来て「僕の名前があった」と喜んでくれるかな」と目を細めていました。

思い出に1本 市民記念植樹祭



▲来年は、この木の下でお花見ができるかな

東 奔



第11回登別市少年の主張大会兼 胆振支庁地区大会予選会が、6月15日鷺別中学校体育館で開かれ、市内7中学校の生徒13人が堂々と意見を発表しました。

中学生に、日ごろ考えていることや体験などを通して得たことを仲間の前で自由に語ってもらおうと、11年前から開催しています。

最優秀賞は「見つけてください 父との絆」と題して発表した幌別中学校3年生の石井美穂さんが受賞し、7月15日追分町で開かれる胆振支庁大会に出場します。

「私の考え」堂々と 第11回 登別市少年の主張大会



▲最優秀賞を受賞した石井美穂さん



▲公園内を「オニッコマーチングバンド」が堂々の行進

新緑のシャワーをあびて 第2回 ラブグリーンフェスティバル IN KAMEDA

「みどり」に親しみを持ってもらうことをテーマとした「第2回ラブグリーンフェスティバル in KAMEDA」が、今年も6月10日から12日の好天に恵まれた3日間亀田記念公園で開かれ、大勢の市民でにぎわいました。

初日は、格安の植木や花が並んで園芸市が行われ、2日目、3日目は、じゃぶじゃぶ川で金魚すくいや老人大学院の協力による竹馬や水鉄砲などの遊びや体験のコーナーがちびっ子たちの人気を集めました。今年も、登別温泉小学校の「オニッコマーチングバンド」が演奏会を行い、公園内を軽快なリズムで行進し駐車場ではドリル演奏を披露するなど、見学の市民から大きな拍手を浴びていました。

仲間たち

廃材再利用 「木のぬくもりを感じながら」

彫多利会

代表 佐々木 清さん

(☎851300)



「ほったりかい」。ちよっとユニークな名前は、木彫りサークルの名称。昭和52年「木彫り講座」を受講したメンバーが結成。以来17年間活動を続け、会員は現在27名。

市民会館の木工室で、廃材などを利用し、彫刻刀を片手に初心者も浮き彫りの鍋敷きやつまようじ入れ、上級になると糸ノコギリを使って透かし彫りのティッシュペーパーのカバーなど、思い思いに製作しています。

昨年は、市からの依頼により姉妹都市提携10周年で白石市に贈った記念品の「鬼面」や登別ふるさと大使の「鬼の盾」などを製作。

「指導者というより経験を積んだ人たちが知恵とアイデアを出し合って、自由に楽しく彫っています。みんなの技術も向上しています」と佐々木会長さん。

「売り物」のような見事な木彫り。バザーに出したりしないんですかとお聞きしたところ「意地悪と思われそうですが、自分で丹精込めて作ったものは売れるのも惜しくなるんですよ。世界でたった一個です。人にも上げられないんです」とみなさん苦笑い。

11月開催の市民文化祭に木彫りの傑作品が並びます。

きらり

市内で発見した粘土で

野焼きに挑戦

津村千鶴子さん
(緑町)



陶器のルーツは、原始時代の土器。でも、窯もロクロもない時代に、人間はどうやって土器を作っていたのでしょうか。市内には、原始時代と同じように土を練り、たき火で焼き上げて土器を作る「登別野焼きの会」があります。上登別町にある「権兵衛窯」の陶芸教室通っていた仲間が集まって平成3年8月結成。

当初から活動している津村千鶴子さんに野焼きの魅力などについてお聞きしました。一年に一度、一般の方も参加して野焼きに挑戦しますね。

「まず、作品作りを行ってから、野焼きを行います。物を作る楽しさを多くの人と分かち合いたいという気持ちから、会員のほか一般の方も参加してもらっています。今回は、市内で発見した良質の粘土で、土器を作るので楽しみです。」

「大人だけじゃなく子供達にも体験してもらいたいですね。」

「野焼きは、大勢が助け合わなければできないんです。子供達に、原始時代の人は助け合って暮らしていたのだということを知ってもらえるいい機会だと思います。」

野焼きの一番の魅力は。

「初めて出会った人同士が、穴掘りなどの共同作業を通して絆を強め合うことが一番の魅力ですね。土に触れ、土器が焼けるまで真っ赤な炎をじっと見ていると、泥遊びや、たき火をした子供のころのワクワク、ドキドキした気持ちになるんです。自然の中から物を作る喜びというものが、大人になっても本能として残っているんですよ。」

「焼き上げている間に割れてしまう作品もあるとか。」

「あります。割れたり、イメージと違うものが、焼き上がることがよくあります。800度以上の高温に何時間も耐えてできあがった作品は、「ああ、こんなはずじゃ無かった」とは思いながらも、とてもいとおしく感じますね。」

会では、10月9日

に野焼きを予定。見学は無料。野焼きに向けて作品作りを7月17日に行います。

まだ若干の余裕があるそうなので、参加希望の方は津村さん(☎6585)まで。



◀昨年の野焼きの様子

友達の輪

わが家の自慢

今回は、前回の田中さんよりご紹介の渡部吉雄さんです。

渡部さんの自慢は、オショロコマ(サケ科イワナ属)を使って自作した本物そっくりの色合いの魚拓。奥の部屋から出してくれた魚拓には、体側に美しい小さな赤い斑点を持つ、大きさ20cmほどの2尾が今にも泳ぎ出しそうに刷り出されていました。

「オショロコマを釣った友達が『めったに釣れない魚だよ』と、わざわざ持ってきてくれたものだからね。お金をいくら出されても譲れませんよ」と渡部さん。美しさに魅せられた私は「食べてみたい」と思いました。

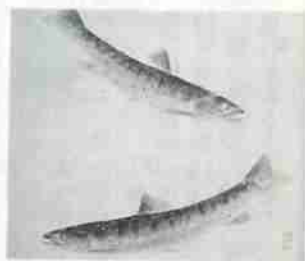
「魚拓づくりは釣った魚を記録するため昭和40年頃に始めたよ。当時は墨の魚拓。カラーの魚拓は10年前からだね」。渡部さん

は函館出身。幼い時から釣りに親しみ、今でも年10回ほどは釣りに出かけていま

す。キャリア80年近くになる釣りの魅力をお聞きすると「釣れるまでのドキドキした気持ちかなあ。あの気持ちは、子供のころとおなじだねえ。釣りをしていると子供になるのかなあ(笑)」と、話してくれました。

インタビューを終え、「子供のころと変わらない何か」を今も持っている渡部さんの笑顔は、若々しくすてきに見えました。

《市民リポーター 大村 朋子》
今回は山形貞子さん(若草町)の登場です。



▲色鮮やかな2匹のオショロコマ

美しいオショロコマの魚拓



わた べ よし お
渡部吉雄さん

(若草町・85歳)

となりまち ホットライン

室蘭市



室蘭ねりこみ
参加者募集

7月29日から31日の港まつりの中で開催される「室蘭ねりこみ」。今年は、舞台を中島町に移し、担ぎ手とみこしが一体となって勇壮に練り歩きます。あなたもぜひ、感動のドラマを味わってみませんか。

▷日時 7月30日(土)19:00

▷場所 中島町一帯

▷参加要領 ○担ぎ手参加者…シンボルみこしの担ぎ手で年齢、男女、個人、団体などは問いません

○みこし(山車)参加者…既存のみこしや手作りみこしなど(30人以上の参加者には審査の上、奨励金を出します)

▷申し込み・問い合わせ 担ぎ手、みこし、いずれも12日(火)まで室蘭市観光振興課(☎21111内線2509)へ電話で

伊達市



戦国時代へ
タイムスリップ
「伊達武者まつり」開催

武士による開拓の歴史と伝統を今に伝える「第20回伊達武者まつり」が8月6日(土)と7日(日)の2日間開かれます。

まつりの夜を彩る華やかな武者山車パレードや勇壮華麗な伊達騎馬総陣立を始め、今年は山形県米沢市の鉄砲保存会の実演などが行われます。ぜひお越しいただき「歴史のまち伊達」の夏まつりをお楽しみください。

▷主要内容 ○武者山車パレード8月6日(土)19:00~21:30山下町を出発、市内を練り歩きます○伊達騎馬総陣立8月7日(日)出陣の儀は16:30~伊達小グランド市内凱旋パレードは17:00~18:00

▷問い合わせ 伊達武者まつり実行委員会(伊達市商工観光課☎0142 ☎3331)

車両通行止 7/24~9/23

鷲別学田通り踏切(鷲別支所近く)



消防庁長官
表彰

はま だしょうぞう
濱田昭三 さん
(登別温泉町・65歳)

市消防団副団長の濱田さんは、昭和21年から48年間にわたり消防団員として消防精神に徹した職務や消防団の育成に対する優秀な活動が評価されて、消防庁長官表彰を受賞しました。

昭和36年の集中豪雨、同39年の加車山の大山林火災、同48年のクスリサンベツ川の堤防が決壊した大雨洪水などの災害救助や地獄谷の投身自殺の防止などに尽力されました。

ふれあいと対話が築く明るい社会 第44回 社会を明るくする運動

毎年、7月1日から31日までの1か月間、全国一斉に青少年の非行防止と更正の援助を目的とした「社会を明るくする運動」が展開されます。

今年も市が中心となり各関係団体などの協力のもとに、「第44回社会を明るくする運動登別地区実施委員会」を設け、啓発パレードや児童生徒、婦人を対象とした映画会、地区懇談会を行います。

第44回社会を明るくする運動
啓発と交通安全啓発パレード

▷日時 7月15日(金)13時30分

▷場所 富岸小学校グランド

▷パレード 14時

※パレード終了後、15時から富岸小学校グラウンドで道警音楽隊によるカラーガード隊ドリル演奏を行います。雨天の場合は全て中止です。

▽問い合わせ 社会福祉課(☎21911)



フレッシュ ボイス

人目を引くすてきな建物の中に入ると、「いらっしやいませ」と、笑顔でお客様を迎える千恵さん。

高校を卒業したら自宅から通勤できる会社に就職したいと迷わず今の職場に。「最初のころは、自動ドアが開いても「いらっしやいませ」の言葉がすぐに出なくて困りました」と、肩をすくめる。

現在はフアンシーショップ売り場の責任者。茶色の制服がよく似合う千恵さんは、「これからもお客様に気持ち良く買い物をしてもらえるようサービスに務めます」と明るく話す。今は仕事に忙しくて思うように通えないが、習い始めたワiproに夢中だ。

く どう ち え さん (鷲別町・24歳★いて座★) 話わかさいも本舗登別店勤務





生涯学習で いっしょになつても

ボランティアで 昔の遊具づくり

ボランティア活動が、今人々の関心を呼んでいます。この活動は、生涯学習の大切な一面でもあるからです。

この活動に参加する人々は、社会に役立ちたい、まわりの人と交流を深めたい、自分の体力や技能、知識を役立てたいなど、様々な気持ちに支えられた活動と言えるでしょう。

技能を生かしてボランティア活動に生きがいを求めている三人の方を紹介しましょう。

山下利夫さん(64歳)
灰原泰明さん(63歳)
菅原英司さん(70歳)
(皆さん富士町在住)



▲3人で制作した凧。左から灰原さん、菅原さん、山下さん

鉄砲づくりとレバートリーを広げています。凧づくりを習いに来た子供達も熱心に体験を深めていったとのこと。

山下利夫さんは、たまたま訪れた郷土資料館で、昔の子供の遊具づくりの計画があることを知り、早速手伝いを申し出ました。

▲郷土資料館で木工作業に励む3人

顔見知りの灰原泰明さんを誘って作業に取り掛かったのですが、二人ではとても手が足りません。そこで、菅原英司さんにも声をかけました。菅原さんは、会社を退職後、職業訓練校で木工技術を会得した方です。以来、三人が協力しあって、各地に伝わる凧づくりや水

三人は、「子供達の喜ぶ顔を見るのがとても楽しい」「皆さんのためになることをするとすがすがしい気持ちになる」、さらに「この活動を通して仲間ができ、おしゃべりをしながら仕事ができる楽しさを味わっている」。何かやりたいと思っている人も結構いるのでチャンスがあればもっとボランティアの輪が広がるように思うと口をそろえて話しています。

(生涯学習推進室)

鬼大使 FAX 通信...②



高田雅嗣さん(50歳)
(千葉県松戸市在住)

〈プロフィール〉
太平工業株式会社総務部長。
東京登別げんきかい幹事。
平成4年11月から登別市ふるさと大使。登別市出身。

登別市のC-1に期待

東京は今、梅雨の真っ最中です。毎年この時期になると、満員の通勤電車の中などで、梅雨のない涼しい登別がとてもなつかしくなります。

首都圏に送られてくる市の広報紙で最近目を引くことがありました。それは、登別が経済・文化・生活の全ての面で、大きく変わろうとする活動がどんどん盛んになっていることです。

特に、新しいまちづくりに向けて「C-1」に取り組んでいることは、私も自分の会社で「C-1」を手がけ、その大切さと難しさを実感しています。もちろん、企業と自治体とは、その進め方などで大きな違いがあることでしょうが、一つの組織があるべき姿・ありたい姿を描いて、それに向けてその中の一人ひとりが誇りを持って活動することの素晴らしさは、同じだと思います。

登別市民自らが、どんな登別、どんな市民であることを望

むのかを考え、発信し、新しい登別のまちづくりに参加することが一番大事であり、実はそれが一番難しいことなのだと思います。

今後の登別の「C-1」がどのように進み、それがどんなかたちでまちづくりに反映されるのか大変興味深く期待しています。

▲平成4年11月、東京登別げんきかい第5回情報交換会で、会社で取り組んだ「C-1」について発表する高田さん。



C-1(コミュニティ・アクション・プラン)市民自らが個性あるまちづくりを目指す、実践していく運動です。

登別市内で、最も古い地名の一つに「わしへつ」があります。

シヤクシヤインの乱の時、東北の津軽藩は、蝦夷に隠密を派遣し松前藩の不正や弾圧を探り江戸幕府に報告したが、その資料「夷狄蜂起集書」に「わしへつ、やち也川あり、シヤイン持ち場で家が五・六戸」とわしべつの名前がでてきます。鷺別岬付近にコタンがつくられていたのでしょうか。今から約325年前の鷺別です。

昔の鷺別は、現在の室蘭市知利別が境界

で、明治3年の鷺別村は現在の室蘭市輪西町の東南、

室蘭工業高校北側の楽山から、室蘭工大の天神山にかけての東南が鷺別村の行政区であったのは郷土史点描23・24号で紹介のとおりです。

鷺別の語源の由来も前号で紹介の「チユ・アシ・ベツ、波・たつ川」の意味などがあります。

さて、現在の鷺別町は鉄道の南側だけになりましたが、大正8年(1919)の大字鷺別村は、鷺別・奥鷺別・富岸・トウボシナイにわかれ、60年前の昭和9年の鷺

郷土史 点描

50

登別郷土文化研究会 宮武 紳一

鷺別町を訪ねて

「貝塚のある遺跡と烽火のあつた鷺別町」

その1

別町は、現在の美園・若草・新生町・栄町の部分も含まれ、字地名も沢山ありました。

例えば、現在の鷺別町1丁目には字ハマ・濱・鷺別・ワシベツ、2丁目には字ハマ・濱・ワシベツ・鷺別・ドロカワ

フツ・ドロカワフツ、3丁目には字ハマ・ワシベツ、

4・5丁目は字ワシベツ・濱・ハマで6

丁目は前濱・ハマ・濱などという名称で

す。ハマ・前濱

などの字名は、幌別、登別の海岸地帯にもみられ、自分の家の近くで獲った魚などを「前ハマの魚」

などと言うし、ハマから少し奥へ入ると「ハマの裏」など名付けて

いました。また鷺別町2・3丁目の鉄道沿線の地名が、鷺別村字ドロカワフツであるのは「ト・沼、

ル・路」の若草町などの湿地帯に鷺別町側の砂丘が小山になつてい



▲50年前の鷺別川 (明治29年図)

る「ウカオプ」の意味であることは郷土史点描38号で紹介のとおりです。挿絵のように鷺別の「やち川」は大変でした。

さて、鷺別で最初に栄えた1丁目は、約107歳の鷺別岬(鯨岬)の頂上から、西側は

室蘭と境界を分け国道36号まで、東は鷺別川の範囲でありますが、鷺別で最も古い地域と言えましょ

う。縄文時代の中期と

言われる鷺別遺跡は、登別市内唯一の貝塚

のある遺跡で、約100年前の明治28年に高畑宣一により「縄

文時代人の住居の跡が28か所もある」と発表していました。その後、昭和36年に北大の大場利夫教授ら

の発掘調査で、貝塚の下層から19個の敷石の中に、2個の石を抱えて

て仰向きになり、脚を屈めた屈葬の形で、首に平玉3個をつけた縄

文時代の人骨が発見されています。屈葬や、頭部が南西向きに、2個

に死者に対する精神文化が芽生えていたことを伺わせます。この貝塚は、鷺別神社北東の真宗寺下方に薄い層でみられ、広範囲にあるので縄文時代の長い生活の場として栄えたのが分ります。これら縄文時代の土器片や石器などは室蘭市高砂町1丁目から3丁目の緩い段丘地に美園町の低地帯を囲むようにみられます。

次に、鷺別岬中腹に設けられていたのが江戸末期の南部藩の「ワシベツ警衛所勤番所」で、鉄砲武者ら三人と足軽ら三人詰め、鷺別

岬頂上から、東は富浦・アヨロ岬、南は太平洋と恵山岬から噴火湾、トツカリシヨ・イタンキ沖を

通る異国船の監視にあたり、南部陣屋(室蘭市陣屋町)幌別会所それに白老の仙台陣屋にも知らせる

重要な役割を果たしていました。また、鷺別岬頂上から、烽火を

あげると、ランボツケ岬・アヨロ岬(虎杖浜)からも見えやすいので、クナシリ・メナシの戦い(1789)の時はここを烽火場として

たようです。

その後、蝦夷地は幕府直轄地(1799)となり、この時の江戸

北町奉行の遠山金四郎は、テレビで知られていますが、彼の父遠山景普も蝦夷地の調査に来た時、鷺別岬に烽火場のあることを紹介し

ています。

まちかどぶらり



風見鶏

登別ビーチパーク 登別東町

平成2年にオープンした登別マリナーパーク。さな建物は、トイレをニクスの前庭は市の公園で、この庭の両端にトイレがふたつあります。マリナーパークにマツ

チしたメルヘン風の小さな建物は、トイレを感じさせない外観で、屋根には風見鶏が飾られています。トイレが終わったら、ちよっと見上げてみてください。

人のうごき

- 人口 57,034(-100)
 - 世帯 20,900(+16)
 - ()は前月比
- 平成6年5月末日現在

鳥名 カッコウ
観察時期 5月中旬から
8月下旬まで



(文・写真提供 日本野鳥の会会員ヨシキリの会)

お問い合わせ 伴野さん(☎7515)

「カッコウカッコウ」
僕はカッコウ。体長は、ハト位だけど、尾は長いんだよ。僕は幌別川に姿を現すのは例年5月20日ころ。よく響く自慢のノドをふるわすと、待ちかねていたように種時きを始める人がいるんだ。

でもね、僕の登場は野鳥の会の人には、今いち受けが良くないんだなあ。多分それは、僕がよその鳥の巣に入って卵を一個つまみだして、自分の卵を産み落とすからなんだ。幌別川では多数派のオオヨシキリ、ノビタキ、アオシの巣をねらっちゃう。僕より体の小さいオオヨシキリは、怒りながら僕を追いかけ回す。そのスキに女房が卵を産んでくるんだ。

僕らの卵は家主の卵より早めにヒナになっちゃうし、仮親の愛情とエサを独占して大きく育つんだよ。これを人間は、託卵といってるけど、僕らの習性なのさ。

